

どうなる？スペースワールド跡地！

THE OUTLETS HIROSHIMA 「ジ アウトレット広島」(広島市) に行ってきました。



昨年スペースワールドが閉園し、跡地はイオンモール(株)が開発することとなっています。アウトレット施設を中心とした施設になると一部で報道されました。そこでイオンモールが今年の4月にオープンさせたアウトレット施設「THE OUTLETS HIROSHIMA」を視察しました。

平成30年4月27日にオープンしたアウトレット施設。2階がアウトレット施設で1階は通年型アイススケートリンクやボーリング場、VR(バーチャルリアリティー)、リアル野球盤、シネマ等のアミューズメント施設、広島の

名店を中心としたグルメゾーンや瀬戸内・山陰エリアの名産品を集めたショップ等、買い物客だけでなく様々な客層が楽しめる施設でした。

店舗数210店、年間800万人来場予定、26万m²の土地に4,300台の駐車場があります。

イオンモールさんからは「**スペースワールド跡地はアウトレットとは決めていない**。来年度中に見えてくると思う。北九州市のアウトレットは広島の実績が一つの判断基準になる。製造業やいのちの旅博物館、イノベーションギャラリーとのコラボやVR・ARなど、どこもやっていないことをやらないといけないと考えている。門司や小倉、八幡の回遊性を考えていく必要があり、ワオンの商店街利用や0.1%を北九州市に寄付するメーテルウォンもからめていきたい。」との意見をいただきました。

THE OUTLETS HIROSHIMAは、アウトレットだけでなくエンターテーメント施設や地元関連施設が併設されとても魅力があり、集客が期待できる施設でした。

しかし「まだアウトレットとは決めていない」という発言には驚きました。



2階はアウトレット施設

THE OUTLETS HIROSHIMAの経過を見てからの判断と聞き、時間はかかりそうな感じです。ただ成功させるためには10年20年後を見通した施設でならないと聞き、とても期待が持てる感触が持てました。

またイオンモールからはワオンの商店街利用など行政との連携を更なる求められています。

今後密にコミュニケーションを図っていく必要があると感じました。

北九州リハビリ報告 | vol. 33

北九州市議会議員 中村 よしお

2018.10.10

『SDGs』ってご存じですか？

SDGsとは「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の略称です。発音の仕方はエス・ディー・ジーズ(SDGs)です。

SDGsは、国連が貧困に終止符を打ち、地球を保護し、すべての人々が平和と豊かさを享受できるようにすることを目指すためのもので、2015年9月の国連サミットで採択されました。国連加盟193か国が2030年までに達成するために掲げた下図17の目標です。

今後大企業では材料調達等においてSDGsに関係したものを優先発注することもあるかもしれません。皆様にはものを購入するときや何かを選ぶときにSDGsに関連しているかを考えていただきたいと思います。一人一人の行動が貧困をなくし、地球を保護し、平和な世界を作ることにつながります！

北九州市は平成29年度(第1回)「ジャパンSDGsアワード」特別賞(パートナーシップ賞)を受賞、OECD「SDGs推進に向けた世界のモデル都市」としてアジア地域で初選定、また「SDGs未来都市」にも選ばれました。



SDGs バッヂ

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



平成30年9月議会本会議一般質問内容

31回目の本会議一般質問を 60分間行いました！

◎こども食堂と小学生の朝ごはん支援について

8月に広島県に視察に行ってきました。

広島県では実態調査を実施した結果、朝食の摂取状況と学力との相関関係がある（朝食を食べている子供の方が食べていない子供より学力が高い）との結果が出たため、希望する小学生に朝食を提供する事業を今年度から開始することになりました。本市でも少しずつこども食堂が増えており、学校等で朝ごはん支援をできないか質問しました。



答弁：「朝食支援は朝食の欠食を補い、子供の成長と健康を支える一助になると思うが、学校により状況が違うので個別に協議したい。」

※私が会長をさせていただいている足原校区まちづくり協議会は、これから朝ごはん支援を始める予定です!!

◎北九州市役所の障害者雇用率問題について

中央省庁や地方公共団体の障害者雇用率の水増しが大きな問題になっています。

本市においても障害者雇用率の算定について、一部で障害者手帳による確認をせずに算入していたことが発表され、手帳取得見込みの者を算入していたが実際は所持していなかった、手帳の有効期限が切れた後も所持者として算入していた等により、これまで発表していた障害者雇用率に算定誤りがあったことが判明しました。

本市の障害者雇用率の状況と、今回の確認結果を踏まえ、今後是正に向けどのように取り組むのか、また障害者の法定雇用率は現在、民間企業が2.2%、国や地方公共団体が2.5%、教育委員会が2.4%とされています。今回の確認により明らかになった本市の障害者雇用率は、病院局は1.38%、教育委員会は2.08%と、法定雇用率を下回っていました。事業者の責務として市が法定雇用率を達成できていない状況はあってはなりません。

病院局と教育委員会それぞれ障害者雇用率の現状と、法定雇用率達成に向けた取り組みについて質問しました。

答弁：「病院局と教育委員会からそれぞれ病院は医療専門職の割合が多いので、教育委員会からは教員の割合が多いので難しかった、できるだけ早期に達成したい。」

それに対して障害者雇用率は障害者雇用促進法という法律であり行政が法律を守らないことは言語道断であると指摘しました。



◎東京ガールズコレクション (TGC) について

若い女性を中心に1万人が集まる東京ガールズコレクションが今年で4回目を迎えます。地方での連続開催は北九州市のみであり、100万人近くがリアルタイムでLINE配信を視聴する、本市のイメージアップ効果絶大のイベントです。このイベントのイメージアップや店舗紹介、地元の食の発信等の効果は当日だけでなく事前イベントを開催することで更に強化できます。TGC効果についてまた今後の開催について質問しました。

答弁：「TGCの若者への発信力は他にないイベントであります今は今回のTGC北九州2018を成功に導き、その成果を検証し、来年以降の開催を検討して参ります。」

主催者である株式会社W TOKYOの村上社長とは今後も継続開催してもらえるよう個人的にも依頼しています。最近暴力団のイメージを少しずつ払拭できるようになってきました。

TGCは若者が働きたい・暮らしたいまちのイメージになるための大変なツールであると思います。



村上社長

◎リサイクルがもたらす世界平和の可能性



岩元会長

国際的アパレルブランド「H&M」は2030年までに、adidasは2024年までに全ての製品を、コカコーラ社は2030年までに製品の50%を石油等の地下資源由来としないことを目標に掲げているなど、この流れは今後、世界中の様々なブランドで進んでいくことになっていきます。

本市若松区にある日本環境設計(株)は、綿製品の古着をバイオエタノールに、ポリエステルの古着をポリエステル纖維に、携帯電話を再生油と金・銀・銅・レアメタルにリサイクルする事業に取り組んでいます。

会長の岩元美智彦氏は同社のビジョンを、石油由来の地下資源製品からリサイクル由来の製品に変えることで資源の争奪戦、国家間の戦争や紛争問題も減少し、平和に導く活動であると語っており、限られた資源を循環させていくことの重要性を強調しています。

岩元会長は2016年12月に日経ビジネスの「次代を創る100人」のトップに選ばれ、また革新的なアイデアで国家を超えて影響を与える可能性が高い社会起業家として、日本のアショカ・フェローにも選出されています。環境分野で日本を代表する本市で同氏が事業をされていることは、誇るべき財産です。

本市の企業からこのような取り組みが始まっていることは本市の活性化やイメージアップにつながるものと思われます。リサイクルがもたらす世界平和の可能性についての市長の見解と、環境都市として本市はどのように関わっていくのかを質問しました。

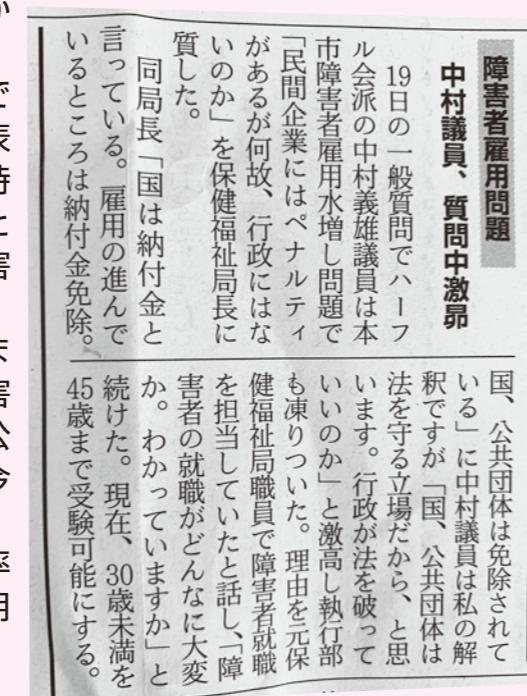
答弁：「これまでにない新しい視点であると考えている。本年度の環境未来技術開発助成金の交付を決定した。今後の事業展開に期待を寄せており、研究開発における大学等の研究者の紹介や研究開発助成、さらには原料調達や販路開拓に係るビジネスマッチングなど、今後とも幅広く事業活動のサポートを行っていく。」

この他、下記についても質問しています！

◎海外路線の誘致について（北九州空港＝釜山・仁川線の利用促進について）

◎これまでの実績を踏まえたクルーズ船誘致の新たな取り組みについて

◎洋上風力発電について



「小倉タイムス」9月21日発行より